

平成 31 年度

# 千葉大学工学部

総合工学科

(デザインコース・物質科学コース)

AO入試 学生募集要項

平成 30 年 (2018 年) 6 月

平成30年 (2018年) 9月 内容一部訂正  
(14ページ訂正)

# 目 次

工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）	1
<b>I デザインコース A O入試</b>	
1. 募集する学科・コース及び募集人員	3
2. 出願資格	3
3. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談	4
4. 出願手続等	4
5. 入学者選抜	6
6. 合格者発表等	7
7. 入学手続等	8
8. コースの紹介	8
9. 平成 30 年度デザインコース A O入試実施状況	9
<b>II 物質科学コース A O入試（理数大好き学生選抜）</b>	
1. 募集する学科・コース及び募集人員	11
2. 出願資格	11
3. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談	12
4. 出願手続等	12
5. 入学者選抜	14
6. 合格者発表等	15
7. 入学手続等	16
8. コース及び特別カリキュラムの紹介	16
9. 平成 30 年度物質科学コース理数大好き学生選抜実施状況	17
<b>III 入学後の教育について</b>	18
千葉大学案内図，工学部 学部学務グループ問い合わせ先	裏表紙

# 工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

## 【工学部入学者受入れの方針】

### ・工学部の求める入学者

現代社会では、豊かな暮らしを目指して効率性や利便性を追求するだけでなく、人と環境にやさしい配慮も求められています。工学部では、工学教育の伝統的な専門性を尊重しながらも、その枠を超えて互いの連携・融合を図ることにより、常に、広範な社会的要請に応えられる専門教育システムの確立に努めています。そして、「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想し実践できる工学技術者・研究者の育成を目指します。

私たちは、工学を「豊かな人間社会の構築を目指す実践の学問」と考えています。社会と環境を支える技術者・研究者を育成する工学部では、

1. 「なぜ」を問う好奇心・探究心
2. 「何をなすべきか」を主体的に考える力
3. 「いかにして」を構想し、実践する力

を修得することにより、興味と資質を有する人材を求めます。

### ・入学者選抜の基本方針

本学部の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施します。

#### 1. 一般入試

##### (1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して評価します。

##### (2) 後期日程（デザインコースおよび物質科学コースは除く）

大学入試センター試験、個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して評価します。

#### 2. 特別入試

##### (1) A O入試

##### ①デザインコース

第1次選抜では、提出された調査書、予め与えられたテーマに沿って作成された論述課題及び試験第1日目に専門適性を判定する課題の内容を総合的に評価し、第1次選抜合格者を決定します。第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、試験第2日目に課題説明を含めた面接を行い、それらの結果からデザインコースで学ぶための資質と適性を総合的に評価します。第2次選抜により、決定された合格内定者に対し、大学入試センター試験で指定する教科・科目の総合点が、75%に達した者を最終合格者として決定します。

##### ②物質科学コース（理数大好き学生選抜）

##### (ア) 方式 I

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）活動等の課題研究で優れた成果をあげたものには、個別学力検査に代え、当該課題研究に関する発表等を含めた面接を行い、数学・理科の基礎的な資質・能力、自己表現力、熱意などを総合的に評価します。また、大学入試センター試験の成績に基づいて基礎学力の確認を行います。

##### (イ) 方式 II

著名な国際科学コンクールの日本代表またはそれに準ずる成績をおさめたものには、個別学力検査に代え、受賞した研究に関する発表や口頭試問を含めた面接を行い、基礎学力、数学・理科の基礎的な資質・能力、自己表現力、熱意などを総合的に評価します。

##### (2) 先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜

先進科学プログラムの入学者選抜の基本方針に基づき評価します。

##### (3) 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対して、提出書類、日本留学試験の成績および面接により総合的に判定します。面接ではコミュニケーション能力、学習意欲、各コースの専門分野における広い関心

について評価します。

#### ・入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について十分に理解できていることが必要です。数学を含む理系科目は工学の基礎となる科目なのでとても重要ですが、国語や外国語も将来、国内外の知見を収集し、成果を発信する上で重要です。論理的な思考で組み立てられた論文や報告書、発表や説明ができなければ、自らの考えを他人に伝えられないので、技術者・研究者としての価値がなくなってしまうです。また、「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想し実践する上で、もう一つ重要なこととして、「学ぶ」ことを楽しむ姿勢を身に付けてほしいと考えています。

なお、工学部では、工学共通の教育に加えて、専門性を深めていくために、9つのコースのうちいずれかに所属して学習していきます。それぞれのコースで学ぶに当たっては、特に以下のような能力や姿勢を身に付けておくことが望まれます。

**建築学コース：**建築・都市および社会の動向や芸術文化に関心を持ち、現代の様々な課題に対して意欲的に探究する姿勢。

**都市環境システムコース：**都市や環境をとりまく諸問題に関心を持ち、それを解決するための基礎的な学力と応用力をもつこと。

**デザインコース：**人間や生活環境全般についての興味や問題意識が旺盛で、絵を描くことやものを造ることによって自分のアイデアを表現する意欲。

**機械工学コース：**事物や現象から仕組みを物理的および化学的に洞察して数学的に表現する能力、幅広い分野の知識を統合して物事を総合的に捉える能力、ならびに機械工学への興味。

**医工学コース：**大学入試センター試験で課している科目の内容を十分に理解できていること。また、医工学は人の命や健康と福祉に直接的・間接的に寄与しているという意識。

**電気電子工学コース：**電気電子工学の社会的使命に興味を示し、その科学技術の発展に寄与したいと強く希望する姿勢。さらに、そのための専門的な知識・能力を習得する意欲と、それを支える基礎的素養と能力。

**物質科学コース：**自然のさまざまな現象や人類の発明や発見について興味を深め、自ら積極的に物質科学における問題を探究する基礎となる数学、物理、化学の総合的な学力。

**共生応用化学コース：**化学を中心にした学問領域を学ぶための基礎学力と、将来、化学だけでなく他の分野との境界領域で仕事をするために化学以外の科目にも興味を持って学ぶ姿勢。

**情報工学コース：**情報工学の基盤である数学、物理の高い能力に加え、情報工学の応用先である他のすべての科目にも興味を持ち、かつ最先端の技術を常に追い求める姿勢。

# I デザインコース AO入試

私たちの日常生活やその環境に存在する問題点を解決し、より快適で美しいものを創造するデザインは、今、あらゆる領域で重要視されています。

千葉大学工学部総合工学科デザインコースでは、生活文化と深く関わり多様なニーズに柔軟に対応すると同時に、技術や科学に裏付けされた芸術性・人間性豊かなデザインの実現を目指し、既存の概念にとらわれない発想力を備え、粘り強く課題に取り組める優れた学生を募集します。

なお、本学部のAO入試においては、デザインコースまたは物質科学コースのいずれかしか出願できません（両方の出願はできません）。

## 1. 募集する学科・コース及び募集人員

募集学科・コース	募集人員	備考
総合工学科 デザインコース	20	

## 2. 出願資格

次の①～⑦のいずれかに該当し、かつ、平成31年1月実施の平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目（選抜方法等を参照）を受験する者

- ① 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者  
※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した（見込みの）者が該当します。
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業課程認定試験規則による高等学校卒業認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成31年3月までに合格見込みの者

### 3. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上又は修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

#### (1) 提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は、工学部 学部学務グループに請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

#### (2) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、志願者本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

#### (3) 事前相談の締切日

平成 30 年 9 月 14 日（金）

#### (4) 申請書請求先及び書類提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1 番 33 号  
千葉大学工学部 学部学務グループ  
電話 043(290)3054

### 4. 出願手続等

- (1) 出願受付期間 平成 30 年 10 月 2 日（火）～10 月 9 日（火）まで（必着）

〔土・日・祝日を除く〕

#### (2) 出願方法

(3) の出願書類を取り揃えてこの要項に添付してある願書送付用封筒に同封し、(1) の出願受付期間内に必着するように、書留郵便で工学部 学部学務グループあて送付してください。なお、持参する場合は、(1) の出願受付期間の 9 時から 12 時、13 時から 17 時の間に工学部 学部学務グループへ提出してください。

#### (3) 出願書類

志願票 (デー 1 青色)	この要項に添付してある所定の各用紙を使用してください。記入に当たっては、下記【志願票に関する注意事項】及び各用紙に記載されている記入上の注意をよく読んで、黒のボールペンで自筆、楷書でていねいに記入してください。誤って記入した場合は、二重線で消し、余白に記入してください。なお、「※」の欄は記入しないでください。 【志願票に関する注意事項】
受験票 (デー 2 青色)	1 振込後の検定料振込証明書「貼付用（大学提出用）」（金融機関出納印が押印済のもの）を必ず貼り付けてください。 2 大学入試センター試験の成績として利用する科目として、国語、地理歴史（日本史B、世界史B、地理B）、公民（「倫理、政治・経済」）、理科（物理、化学、生物、地学）の中から1科目を選択（マーク）してください。
写真 2 枚	写真 2 枚（大きさ縦 4 cm×横 3 cm、上半身、正面、脱帽で最近 3 カ月以内撮影の同じもの）を用意し、志願票に 1 枚、受験票に 1 枚貼り付けてください。

<p>検定料振込証明書 「貼付用 (大学提出用)」 (金融機関出納印が 押印済のもの)</p>	<p>出願する前に、この要項に添付してある所定の振込用紙により、検定料17,000円を最寄りの銀行等の窓口で振り込んでください。(振込手数料は本人負担となります。なお、ゆうちょ銀行では振り込むことができませんので注意してください。また、ATM(現金自動預払機)は使用できません。)</p> <p>振込後、銀行等から受領した検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」を志願票の所定枠内に貼り付けてください。</p> <p>(注) いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が本学所定の返還手続を行った場合は、検定料の全額を返還します。返還手続の詳細については、工学部 学部学務グループに確認してください。</p> <p>(返還手続の期限：平成31年3月29日(金)17時まで)</p>												
<p>調査書等</p>	<p>該当する証明書類を提出してください。</p> <table border="1" data-bbox="531 629 1366 1921"> <thead> <tr> <th data-bbox="531 629 911 674">出願資格</th> <th data-bbox="911 629 1366 674">証明書類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="531 674 911 898"> <p>① 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者</p> </td> <td data-bbox="911 674 1366 898"> <p>調査書 (卒業後5年以上が経過し調査書が入手できない場合は、卒業証明書を提出してください)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 898 911 1122"> <p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> </td> <td data-bbox="911 898 1366 1122"> <p>成績証明書</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1122 911 1346"> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者</p> </td> <td data-bbox="911 1122 1366 1346"> <p>文部科学省が定めた調査書に準じて作成したもの</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1346 911 1697"> <p>⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者</p> </td> <td data-bbox="911 1346 1366 1697"> <p>成績証明書</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1697 911 1921"> <p>⑦ 高等学校卒業課程認定試験規則による高等学校卒業認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)及び平成31年3月までに合格見込みの者</p> </td> <td data-bbox="911 1697 1366 1921"> <p>合格成績証明書</p> </td> </tr> </tbody> </table>	出願資格	証明書類	<p>① 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者</p>	<p>調査書 (卒業後5年以上が経過し調査書が入手できない場合は、卒業証明書を提出してください)</p>	<p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p>	<p>成績証明書</p>	<p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者</p>	<p>文部科学省が定めた調査書に準じて作成したもの</p>	<p>⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者</p>	<p>成績証明書</p>	<p>⑦ 高等学校卒業課程認定試験規則による高等学校卒業認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)及び平成31年3月までに合格見込みの者</p>	<p>合格成績証明書</p>
出願資格	証明書類												
<p>① 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者</p>	<p>調査書 (卒業後5年以上が経過し調査書が入手できない場合は、卒業証明書を提出してください)</p>												
<p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p>	<p>成績証明書</p>												
<p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者</p>	<p>文部科学省が定めた調査書に準じて作成したもの</p>												
<p>⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者</p>	<p>成績証明書</p>												
<p>⑦ 高等学校卒業課程認定試験規則による高等学校卒業認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)及び平成31年3月までに合格見込みの者</p>	<p>合格成績証明書</p>												
<p>入学試験関係書類 送付用封筒</p>	<p>この要項に添付してある所定の封筒に、志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入し、672円分の郵便切手(簡易書留速達料金を含む。)を貼ってください。</p>												

あて名票	この要項に添付してある所定のあて名票に、志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
志望理由書 (デー3)	この要項に添付してある所定の用紙により、デザインコースを志望する理由を800字以内で記入してください。黒のボールペンを用い、横書きで志願者本人が記入してください。 誤って記入した場合は、修正液などで訂正し記入してください。 ※ワープロ等でプリントアウトした原稿の貼り付けはできません。
課題論述 (デー4(1)～(3))	与えられたテーマについて、この要項に添付してある課題論述用紙1～3に1,600字程度で記入してください。 テーマ：日常においてあなたが注意深く観察しているモノあるいはコトを一つ挙げて、観察の動機、視点、行い方、および観察して分かったことなどを具体的に論述してください。 (注) 課題論述用紙には、直接記入せずにワープロ等でプリントアウトした原稿を貼付しても構いません。文書以外に図や写真などを用いる場合は、課題論述用紙3の余白に記入又は貼付してください。既存の資料から引用した場合には、出典を明記してください。

#### (4) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 出願後の出願内容の変更はできません。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- ④ 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 本選抜の可否及び入学手続等に関する個人情報(氏名及び大学入試センター試験受験番号)は、大学入試センター及び併願先の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。以下同じ。)に提供され、国公立大学の一般入試合格者の決定を行うための情報として利用されます。
- ⑥ 本選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

#### (5) 受験票の発送

受験票は、試験当日の注意事項などとあわせて、入学試験関係書類送付用封筒にて送付します。なお、10月22日(月)までに届かない場合は、工学部 学部学務グループに問い合わせください。

## 5. 入学者選抜

選 抜	選抜期日及び日時	選 抜 方 法 等								
第1次選抜 (課題及び 出願書類審査)	平成30年 10月27日(土)	<p>専門適性をみる課題を行います。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>時 間</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課 題 1</td> <td>10:00～12:00</td> <td rowspan="2">工学部校舎</td> </tr> <tr> <td>課 題 2</td> <td>13:30～16:00</td> </tr> </tbody> </table> <p>専門適性をみる課題及び出願書類を総合的に評価し、第1次選抜合格者を決定します。 また、課題での携行品(使用できるもの)は以下のとおりです。 (貸出しはしません。) 鉛筆(Hから4B程度)、鉛筆削り、消しゴム、 三角定規(30cm程度)1組、目盛付直定規(30cm程度)、 コンパス、カッターナイフ、はさみ</p>	区 分	時 間	場 所	課 題 1	10:00～12:00	工学部校舎	課 題 2	13:30～16:00
区 分	時 間	場 所								
課 題 1	10:00～12:00	工学部校舎								
課 題 2	13:30～16:00									



第2次選抜 (面接)	平成30年 10月28日(日) 13時00分～	第1次選抜合格者に対し、面接を工学部校舎で順次行い、第2次選抜合格者を決定します。 なお、面接に関する注意事項等の詳細については、第1次選抜の結果発表時(10月28日(日)10時)に工学部掲示板へ掲示します。																										
大学入試 センター試験	平成31年 1月19日(土) ～20日(日)	<p>第2次選抜合格者のうち、平成31年度大学入試センター試験において下表の指定教科・科目を受験し、指定教科・科目の総得点(配点合計)が75%に達した者を最終合格者として決定します。</p> <table border="1" data-bbox="660 434 1422 757"> <thead> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目等</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th>指定科目数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td rowspan="3">左記より 1科目</td> <td rowspan="3">200</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>世界史B, 日本史B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「倫理, 政治・経済」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理, 化学, 生物, 地学</td> <td rowspan="2">2科目</td> <td rowspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語(筆記及びリスニング)</td> <td>1科目</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、地理歴史・公民及び理科(配点100点)は200点満点に、英語は筆記(配点200点)とリスニング(配点50点)の合計を200点満点に換算します。</p>	大学入試センター試験の指定教科・科目等				指定教科・科目		指定科目数	配点	国語	国語	左記より 1科目	200	地理歴史	世界史B, 日本史B, 地理B	公民	「倫理, 政治・経済」	理科	物理, 化学, 生物, 地学	2科目	200	数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	外国語	英語(筆記及びリスニング)	1科目	200
大学入試センター試験の指定教科・科目等																												
指定教科・科目		指定科目数	配点																									
国語	国語	左記より 1科目	200																									
地理歴史	世界史B, 日本史B, 地理B																											
公民	「倫理, 政治・経済」																											
理科	物理, 化学, 生物, 地学	2科目	200																									
数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B																											
外国語	英語(筆記及びリスニング)	1科目	200																									

注意) 大学入試センター試験の指定教科・科目について

デザインコースをAO入試と個別学力検査(前期日程)両方の受験を予定している場合、それぞれの選抜で、大学入試センター試験の指定教科・科目が異なるので注意してください。

〔千葉大学で公表する入学者選抜要項や学生募集要項などを確認のうえ、大学入試センター試験の受験教科・科目を選択し出願してください。〕

## 6. 合格者発表等

### (1) 第1次選抜合格者発表

第1次選抜合格者受験番号を平成30年10月28日(日)10時に工学部掲示板へ掲示するとともに、第2次選抜(面接)に関する注意事項等の詳細もあわせて掲示します。

### (2) 第2次選抜合格者発表

第2次選抜合格者受験番号を平成30年11月16日(金)13時に工学部掲示板へ掲示するとともに、平成30年11月16日(金)14時頃に千葉大学工学部ホームページ(<http://www.f-eng.chiba-u.jp/>)へ掲載します(掲示・ホームページ掲載とも11月20日(火)17時まで)。また、合格者に同選抜結果通知書等の関係書類を送付します。

第2次選抜合格者には「平成31センター試験成績請求票 国公立AO入試用」を工学部 学部学務グループへ送付していただきます。

### (3) 最終合格者発表

合格者受験番号を平成31年2月13日(水)13時に工学部掲示板へ掲示するとともに、平成31年2月13日(水)14時頃に千葉大学工学部ホームページ(<http://www.f-eng.chiba-u.jp/>)へ掲載します(掲示・ホームページ掲載とも2月15日(金)17時まで)。また、合格者に合格通知書等を送付します。

(注) 合格者は、平成31年2月又は3月に実施する国公立大学の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、本学部に「入学辞退願」を提出し、その許可を受けた場合にはこの限りではありません。

## 7. 入学手続等

### (1) 入学手続日時及び場所

合格者は、平成 31 年 2 月 19 日（火）の 9 時から 11 時 30 分、13 時から 16 時の間に工学部 学部学務グループへ直接出向いて入学手続を行ってください。入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので充分注意してください。

(注) 1 入学手続には、平成 31 年度の「大学入試センター試験受験票」及び「千葉大学受験票（又は合格通知書）」の提示が必要ですので大切に保管してください。

2 本選抜の入学手続を完了した場合、他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

### (2) 入学手続の際に納入する主な経費

入学料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 282,000 円

学生保健互助会費・・・・・・・・・・・・ 8,000 円（4 年分）

学生教育研究災害傷害保険料・・ 4,660 円（4 年分）（学研災付帯賠償責任保険 A コース含む）

(注) 1 新入生の授業料は、入学後の 5 月（前期分）及び 10 月（後期分）に口座引落により納入していただきます。口座引落手続についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。なお、前期分・後期分授業料はそれぞれ 267,900 円（年額 535,800 円）です。また、入学して 2 年目から、前期分授業料は 4 月が口座引落の月となります。

2 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

3 入学料及び授業料が免除される制度があります。

詳細は、千葉大学ホームページ

<http://www.chiba-u.jp/campus-life/payment/exemption.html> をご覧ください。

入学料及び授業料免除に関する問い合わせ先

学務部学生支援課 電話 043-290-2178

4 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

5 学生保健互助会費（疾病負傷の際に相互に救済し、進んで健康保持に寄与することを目的としております。）及び学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。）は、平成 31 年 3 月 29 日（金）までに郵便局又はゆうちょ銀行で払い込んでください。

詳細は、学務部学生支援課へ問い合わせてください。

電話 043-290-2220（学生保健互助会）

電話 043-290-2162（学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険）

## 8. コースの紹介

### ■デザインコース

#### <感性と知性とを備えたデザイナーの養成>

私達の生活その環境の環境に存在する問題点を解決し、より快適で美しいものを創造するデザインは、今、あらゆる領域で重要視されています。そのため、生活文化と深く関わりながら、技術と科学に裏打ちされた芸術性・人間性豊かなデザインの実現することのできる能力を有し、デザイン界をリードして国際的に活躍できる人材が求められており、その養成をめざしています。

入学された皆さんは、まず、教養教育としての普遍教育科目群、工学教育の基礎としての専門基礎科目群により一般基礎教育を学習します。また同時に、専門教育の基礎となる講義や演習によって、デザインに求められる教養としての知識や技術を身につけます。専門教育においては、2 年次から 3 年次までの 2 年間にわたって用意された [工業デザイン、トランスポーターデザイン、コミュニケーションデザイン、環境デザイン、デザイン科学演習] という 5 つの演習科目を通して、基礎から応用までの一貫した教育を体系的に学ぶことができます。また、海外協

定校の学生との国内及び、海外でのデザインワークショップ等、国際経験を積む機会も準備されています。以上の学習を終えると、4年間の集大成ともいえるべき卒業研究、あるいは、デザイン総合プロジェクトを履修します。

皆さんを指導する教員は、大学院工学研究院・総合工学講座（教員組織）の中の、13の専門領域〔製品デザイン、システムプランニング、デザインマネジメント、材料計画、意匠形態学、コミュニケーションデザイン、人間情報科学、デザイン心理学、コマーシャルデザイン、環境デザイン、人間生活工学、デザイン文化計画、コンテクスチュアルデザイン〕を基盤としてお互いに連携を取り合っています。我が国屈指の教員から構成されるいずれの領域においても、人間とその生活行動の安全・安心、生活の質と快適性の向上を目的として、美しい製品やシステムを「探求する」「構想する」「かたちづくる」ことができる高度デザイナーの育成をめざしています。さらに、学部を卒業した半数以上の人は大学院に進学し、博士前期課程までの6年間、さらには博士後期課程までの9年間の一貫したより高度な勉学に励んでいます。

本コースの卒業生は、自動車、精密機械、家電製品、家具などの製造業、情報産業や地域開発産業等において、企画・設計・開発などの業務を行うデザイナーとして、また、全国デザイン系大学の教員や試験研究機関におけるデザイン研究者として、第一線でめざましい活躍をしています。

デザインコースホームページ <http://www.f-eng.chiba-u.jp/education/design.html>

## 9. 平成30年度デザインコースAO入試実施状況

募集コース	募集人員	志願者数			第1次選抜合格者数			第2次選抜合格者数			最終合格者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
デザインコース	20	36	50	86	15	32	47	9	14	23	4	9	13

## II 物質科学コース A O入試（理数大好き学生選抜）

千葉大学工学部物質科学コースでは、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)活動等の課題研究で優れた成果を上げた高校生を対象とした入試・教育方式『A O入試（理数大好き学生選抜）』を行っております。この方式では、理科が大好きな学生が大学でも継続して研究に取り組める体制を整えることにより、千葉大学から科学技術を支え発展させる人材を輩出することを目指しています。そのため、この選抜による入学者には少人数特別カリキュラムが用意されており、早期に専門基礎教育を履修し、研究活動を開始することができます。

この選抜の入試ではSSH活動等で行った研究活動が、面接試験のかたちで評価されます。また、高校3年生だけでなく、本年3月に卒業した人も応募できます。

なお、本学部のA O入試においては、物質科学コースまたはデザインコースのいずれかしか出願できません（両方の出願はできません）。

### 1. 募集する学科・コース及び募集人員

募集学科・コース等	募集人員	備考
総合工学科 物質科学コース 方式Ⅰ・方式Ⅱ	方式Ⅰ 方式Ⅱ あわせて 10	出願の際、入学志願票（以下「志願票」という。）及び受験票に出願する方式を選択（○で囲む）してください。

### 2. 出願資格

次の①を満たし、**方式Ⅰ**については②③、**方式Ⅱ**については④の要件を満たすもの

- ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成30年3月に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）

#### 方式Ⅰ

- ② 次のア又はイのいずれかに該当する者

ア 理科に関する実験・調査活動・クラブ活動などを通して優れた自由研究を行った者

イ 日本学生科学賞（読売新聞社）、JSEC（朝日新聞社）など、審査制度のある自然科学並びに工学系のコンテストやコンクール等で優れた成果を発表した者

- ③ 平成31年1月実施の平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目（13ページ参照）を受験する者

#### 方式Ⅱ

- ④ 高校生を対象とした個人研究で、著名な国際科学コンクールの日本代表又はそれに準ずる成績をおさめた者

（注）“著名な国際科学コンクールの日本代表又はそれに準ずる成績をおさめた者”に関する具体例としては下記のような賞があります。

国際学生科学技術フェア（Intel ISEF）の日本代表を決める際の選出対象となる下記の賞

- 1) 日本学生科学賞 入賞者（内閣総理大臣賞，文部科学大臣賞，環境大臣賞，科学技術政策担当大臣賞，全日本科学教育振興委員会賞，読売新聞社賞，科学技術振興機構賞，日本科学未来館賞，旭化成賞，読売理工学院賞，優秀賞）など
- 2) 高校生科学技術チャレンジ グランドアワード 3 賞（文部科学大臣賞，科学技術政策担当大臣賞，科学技術振興機構賞），特別協賛社賞（富士通賞），協賛社賞（花王賞，JFE スチール賞），主催者賞（朝日新聞社賞），特別奨励賞，審査委員奨励賞など

### 3. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり，受験上又は修学上特別な配慮を必要とするものは，出願に先立ち，次により事前相談の申請を行ってください。

#### (1) 提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は，工学部 学部学務グループに請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

#### (2) 相談内容の検討

提出された書類に基づき，本学関係者で検討を行います。ただし，検討の過程において，志願者本人，保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

#### (3) 事前相談の締切日

平成 30 年 9 月 14 日（金）

#### (4) 申請書請求先及び書類提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1 番 33 号  
千葉大学工学部 学部学務グループ  
電話 043(290)3054

### 4. 出願手続等

- (1) 出願受付期間 平成 30 年 10 月 2 日（火）～10 月 9 日（火）まで（必着）

〔土・日・祝日を除く〕

#### (2) 出願方法

(3) の出願書類を取り揃えてこの要項に添付してある願書送付用封筒に同封し，(1) の出願受付期間内に必着するように，書留郵便で工学部 学部学務グループあて送付してください。なお，持参する場合は，(1) の出願受付期間の 9 時から 12 時，13 時から 17 時の間に工学部 学部学務グループへ提出してください。

#### (3) 出願書類

志願票 (物-1 緑色)	この要項に添付してある所定の各用紙を使用してください。記入に当たっては，下記(注)及び各用紙に記載されている記入上の注意をよく読んで，黒のボールペンで自筆，楷書でていねいに記入してください。誤って記入した場合は，二重線で消し，余白に記入してください。なお，「※」の欄は記入しないでください。
受験票 (物-2 緑色)	(注)振込後の検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」(金融機関出納印が押印済のもの)を必ず貼り付けてください。
写真 2 枚	写真 2 枚 (大きさ縦 4 cm×横 3 cm，上半身，正面，脱帽で最近 3 カ月以内撮影の同じもの)を用意し，志願票に 1 枚，受験票に 1 枚貼り付けてください。

<p>検定料振込証明書 「貼付用 (大学提出用)」 (金融機関出納印が 押印済のもの)</p>	<p>出願する前に、この要項に添付してある所定の振込用紙により、検定料17,000円を最寄りの銀行等の窓口で振り込んでください。(振込手数料は本人負担となります。なお、ゆうちょ銀行では振り込むことができませんので注意してください。また、ATM(現金自動預払機)は使用できません。)</p> <p>振込後、銀行等から受領した検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」を志願票の所定枠内に貼り付けてください。</p> <p>(注) いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が本学所定の返還手続を行った場合は、検定料の全額を返還します。返還手続の詳細については、工学部 学部学務グループに確認してください。</p> <p>(返還手続の期限：平成31年3月29日(金)17時まで)</p>
<p>調査書</p>	<p>出身高等学校長等が作成したものを提出してください。</p>
<p>入学試験関係書類 送付用封筒</p>	<p>この要項に添付してある所定の封筒に、志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入し、672円分の郵便切手(簡易書留速達料金を含む。)を貼ってください。</p>
<p>あて名票</p>	<p>この要項に添付してある所定のあて名票に、志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。</p>
<p>志望理由書 (物-3)</p>	<p>この要項に添付してある所定の用紙により、物質科学コースを志望する理由を800字以内で記入してください。黒のボールペンを用い、横書きで志望者本人が記入してください。</p> <p>誤って記入した場合は、修正液などで訂正し記入してください。</p> <p>なお、直接記入せずにワープロ等でプリントアウトした原稿を貼り付けても構いません。</p>
<p>研究成果報告書 (物-4)</p>	<p>この要項に添付してある所定の用紙により、面接における研究成果の発表方式などを記入してください。</p>
<p>自由研究、 コンテスト、 コンクール等の 実績資料</p>	<p>自由研究、コンテスト、コンクール等に応募した論文、レポート等のコピーを、また受賞歴がある場合は、賞状、新聞記事等のコピーを提出してください。なお、提出した資料は返却しません。</p>

#### (4) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 出願後の出願内容の変更はできません。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- ④ 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 本選抜の合否及び入学手続等に関する個人情報(氏名及び大学入試センター試験受験番号)は、大学入試センター及び併願先の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。以下同じ。)に提供され、国公立大学の一般入試合格者の決定を行うための情報として利用されます。
- ⑥ 本選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

(5) 受験票の発送

方式Ⅰ

第1次選抜合格者発表後（平成30年10月16日（火）13時），選抜結果通知等の関係書類とあわせて入学試験関係書類送付用封筒にて送付します（不合格者には，選抜結果通知等のみ送付します）。なお，10月22日（月）までに届かない場合は，工学部 学部学務グループにお問い合わせください。

方式Ⅱ

当日の注意事項などとあわせて，入学試験関係書類送付用封筒にて送付します。なお，10月22日（月）までに届かない場合は，工学部 学部学務グループにお問い合わせください。

5. 入学者選抜

【方式Ⅰ】

選 抜	選抜期日及び日時	選 抜 方 法 等																														
第1次選抜 （書類審査）	平成30年 10月10日（水） ～12日（金）	出願時に提出された書類（調査書，志望理由書，研究成果報告書等）により，第1次選抜合格者を決定します。																														
第2次選抜 （面接）	平成30年 10月27日（土） 14時00分～	第1次選抜合格者に対し，研究成果の発表等の面接（1人当たり20～30分の面接時間で，前半10分で研究成果の発表を，後半で質疑応答を行います。研究成果の発表方式は自由ですが，出願時に発表方式の申告が必要となります。）を工学部校舎で行い，第2次選抜合格者を決定します。 なお，受験に関する注意事項等の詳細については，受験票送付の際に同封するとともに，平成30年10月26日（金）9時に工学部掲示板へ掲示します。																														
大学入試 センター試験	平成31年 1月19日（土） ～20日（日）	第2次選抜合格者のうち，平成31年度大学入試センター試験において下表の指定教科・科目を受験し，指定教科・科目の総得点（配点合計）が70%に達した者を最終合格者として決定します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目等</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指 定 教 科 ・ 科 目</th> <th>指 定 科 目 数</th> <th>配 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数 学</td> <td>数学Ⅰ・数学A</td> <td>1科目</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ・数学B</td> <td>1科目</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理 科</td> <td>物理</td> <td>1科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>1科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外 国 語</td> <td>英語（筆記及びリスニング）， ドイツ語，フランス語， 中国語，韓国語</td> <td>左記から 1科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: center;">合計 800</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)上記以外の教科・科目を受験しても，本選抜には影響しません。</p>	大学入試センター試験の指定教科・科目等				指 定 教 科 ・ 科 目		指 定 科 目 数	配 点	数 学	数学Ⅰ・数学A	1科目	100	数学Ⅱ・数学B	1科目	100	理 科	物理	1科目	200	化学	1科目	200	外 国 語	英語（筆記及びリスニング）， ドイツ語，フランス語， 中国語，韓国語	左記から 1科目	200				合計 800
大学入試センター試験の指定教科・科目等																																
指 定 教 科 ・ 科 目		指 定 科 目 数	配 点																													
数 学	数学Ⅰ・数学A	1科目	100																													
	数学Ⅱ・数学B	1科目	100																													
理 科	物理	1科目	200																													
	化学	1科目	200																													
外 国 語	英語（筆記及びリスニング）， ドイツ語，フランス語， 中国語，韓国語	左記から 1科目	200																													
			合計 800																													

## 【方式Ⅱ】

選 抜	選 抜 日 時	選 抜 方 法 等
面 接	平成 30 年 10 月 27 日 (土) 14 時 00 分～	<p>研究成果の発表等の面接（1人当たり 20～30 分の面接時間で、前半 10 分で研究成果の発表を、後半で質疑応答を行います。研究成果の発表方式は自由ですが、出願時に発表方式の申告が必要となります。）を工学部校舎で行います。</p> <p>提出された書類（調査書、志望理由書、研究成果報告書等）並びに研究発表、面接及び口頭試問により、総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）</p> <p>なお、受験に関する注意事項等の詳細については、受験票送付の際に同封するとともに、平成 30 年 10 月 26 日（金）9 時に工学部掲示板へ掲示します。</p>

## 6. 合格者発表等

### 方式Ⅰ

#### （１）第 1 次選抜合格者発表

第 1 次選抜合格者受験番号を平成 30 年 10 月 16 日（火）13 時に工学部掲示板へ掲示するとともに、志願者全員に同選抜結果通知等の関係書類を入学試験関係書類送付用封筒にて送付します。

また、第 1 次選抜合格者受験番号を平成 30 年 10 月 16 日（火）14 時頃に千葉大学工学部ホームページ (<http://www.f-eng.chiba-u.jp/>) へ掲載します。

（注）掲示・ホームページ掲載とも 10 月 19 日（金）17 時まで。

合格者には、選抜結果通知、受験票及び第 2 次選抜の注意事項等を送付します。

また、不合格者には、平成 31 年 3 月 29 日（金）17 時までに本人が所定の手続を行った場合に検定料の一部（13,000 円）を返還します。

（返還手続の詳細は、選抜結果通知とあわせて送付します。）

#### （２）第 2 次選抜合格者発表

第 2 次選抜合格者受験番号を平成 30 年 11 月 16 日（金）13 時に工学部掲示板へ掲示するとともに、平成 30 年 11 月 16 日（金）14 時頃に千葉大学工学部ホームページ (<http://www.f-eng.chiba-u.jp/>) へ掲載します（掲示・ホームページ掲載とも 11 月 20 日（火）17 時まで）。また、合格者に同選抜結果通知書等の関係書類を送付します。

第 2 次選抜合格者には「平成 31 センター試験成績請求票 国公立 A O 入試用」を工学部 学部学務グループへ送付していただきます。

#### （３）最終合格者発表

合格者受験番号を平成 31 年 2 月 13 日（水）13 時に工学部掲示板へ掲示するとともに、平成 31 年 2 月 13 日（水）14 時頃に千葉大学工学部ホームページ (<http://www.f-eng.chiba-u.jp/>) へ掲載します（掲示・ホームページ掲載とも 2 月 15 日（金）17 時まで）。また、合格者に合格通知書等を送付します。

（注）合格者は、平成 31 年 2 月又は 3 月に実施する国公立大学の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、本学部に「入学辞退願」を提出し、その許可を受けた場合にはこの限りではありません。

### 方式Ⅱ

合格者受験番号を平成 30 年 11 月 16 日（金）13 時に工学部掲示板へ掲示するとともに、平成 30 年 11 月 16 日（金）14 時頃に千葉大学工学部ホームページ (<http://www.f-eng.chiba-u.jp/>) へ掲載します（掲示・ホームページ掲載とも 11 月 20 日（火）17 時まで）。また、合格者に合格通知書等を送付します。

（注）合格者は、平成 31 年 2 月又は 3 月に実施する国公立大学の個別学力検査等を受験しても、



その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、本学部に「入学辞退願」を提出し、その許可を受けた場合にはこの限りではありません。

## 7. 入学手続等

### (1) 入学手続日時及び場所

合格者は、平成31年2月19日(火)の9時から11時30分、13時から16時の間に工学部 学部学務グループへ直接出向いて入学手続を行ってください。入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので充分注意してください。

(注) 1 入学手続には、平成31年度の「大学入試センター試験受験票」及び「千葉大学受験票(又は合格通知書)」の提示が必要ですので大切に保管してください。

2 本選抜の入学手続を完了した場合、他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

### (2) 入学手続の際に納入する主な経費

入学料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 282,000 円

学生保健互助会費・・・・・・・・・・・・ 8,000 円 (4年分)

学生教育研究災害傷害保険料・・ 4,660 円 (4年分)(学研災付帯賠償責任保険Aコース含む)

(注) 1 新入生の授業料は、入学後の5月(前期分)及び10月(後期分)に口座引落により納入していただきます。口座引落手続についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。なお、前期分・後期分授業料はそれぞれ267,900円(年額535,800円)です。また、入学して2年目から、前期分授業料は4月が口座引落の月となります。

2 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

3 入学料及び授業料が免除される制度があります。

詳細は、千葉大学ホームページ

<http://www.chiba-u.jp/campus-life/payment/exemption.html> をご覧ください。

入学料及び授業料免除に関する問い合わせ先

学務部学生支援課 電話 043-290-2178

4 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

5 学生保健互助会費(疾病負傷の際に相互に救済し、進んで健康保持に寄与することを目的としております。)及び学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料(正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。)は、平成31年3月29日(金)までに郵便局又はゆうちょ銀行で払い込んでください。

詳細は、学務部学生支援課へ問い合わせてください。

電話 043-290-2220 (学生保健互助会)

電話 043-290-2162 (学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険)

## 8. コース及び特別カリキュラムの紹介

### ■物質科学コース

＜物理学/化学の枠組みを超えて、物質の本質に迫り、その機能を応用する＞

工学の数多くのイノベーションの成果は、物質・材料を介して目に見える形へと実現されていきます。近年の科学技術の進歩により、原子や分子、その集合体をより精密に操作することが可能になりつつあります。これによって、さまざまな新しい現象が見つかり、新しい形での応用ができるようになってきました。これらは広くナノテクノロジーと呼ばれていますが、物理学や化学を包含し、現在も大きく発展し続けている境界的な科学・工学領域です。そして、たとえば新しい電子デバイスや画像デバイスが、このような技術に基づいて生まれてくることが期待されています。物質科学コースは、物理学および化学を基礎としつつ、その枠組みを超えて、さまざまな物質の性質・

機能を探り、またそれを工学的に応用・活用することを目指しています。物質についての理解は現代の科学の根幹をなすものであり、高度情報化社会の基盤を支える物質についての科学を、深く掘り下げると同時に幅広い眼で全体を俯瞰し、また応用展開できる人材を育成する—これが本コースの目標です。

物質科学で学ぶべき対象は極めて広範囲にわたるため、物理学的な側面からの教育プログラムと、化学的側面からの教育プログラムがあり、学生はいずれかを選択します。これらのプログラムは独立なものではなく、共通して学ぶ部分も多く、相互に連携したものです。どちらも、物質科学の理解を通して広く自然科学や工学技術一般についても深い理解を得られるように構成されています。これらによって、分野の壁を越えた科学的方法論（思考法、探求法）と、それらの工学的応用価値や社会的意義を深く理解し、実践できる技術者、研究者を育てます。特に、4年次で行われる1年間の卒業研究では、コース教員の研究室で研究チームの一員として最先端の研究に加わります。

物質科学コースホームページ <http://www.tp.chiba-u.jp/ms/>

### ■特別カリキュラム

この入試で入学した「理数大好き学生」には、通常の授業に加えて、「先端科学探究コース」と呼ばれる特別カリキュラムが実施されます。このコースでは、以下のような自由課題研究を中心にした「プロジェクト研究Ⅰ～Ⅵ」が開講されています。これらの科目をすべて履修すると、卒業後の成績証明書に「先端科学探究コース修了」と記載されます。

- 物理実験に必要な基礎技術の習得：ノギス、マイクロメータ、秤の使い方、テスタを使った電圧、電流の測定、オシロスコープの使い方、コンピュータによるデータ整理、機械工作（旋盤、ボール盤、フライス盤）、電子工作（電源、発振回路）など
- 化学に関する基礎実験：導電性高分子の合成、振動反応など
- 自由課題研究：学生からの自主的なテーマ提案による課題研究

（事前打ち合わせ、中間報告会、最終報告会、レポート作成、サイエンス・インカレ応募など）

また、「理数大好き学生」には、学習・研究のための自習室が用意されていて、1年次生から利用できます。自習室にはパソコンと実験機器が準備されていて、通常の授業の予習、復習はもちろんのこと、各自の自由課題研究を進めることもできます。また、自習室の近くには物質科学コースの先生の研究室があるので、いろいろなことを相談しやすい環境になっています。

## 9. 平成30年度物質科学コース理数大好き学生選抜実施状況

※物質科学コースA〇入試（理数大好き学生選抜）は、平成30年度選抜まで「理数大好き学生選抜（募集人員 若干名）」として実施していました。

募集コース 選抜区分	募集 人員	志願者数			第1次選抜 合格者数			第2次選抜 合格者数			最終 合格者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
物質科学コース 方式Ⅰ	若干名	2	1	3	2	1	3	2	1	3	0	0	0
募集コース 選抜区分	募集 人員	志願者数			合格者数								
		男	女	計	男	女	計						
物質科学コース 方式Ⅱ	若干名	0	0	0	-	-	-						

### Ⅲ 入学後の教育について

工学部では、次のとおりコースごとに入学者を募集します。出願したコースで合格すれば「総合工学科」の志願したコースに配属します。また、1年次の教育は、複数のコースを束ねた4つの系（「建築・デザイン系（約160名）」、「機械・応用物理系（約130名）」、「電気・情報系（約190名）」、「応用化学・環境系（約140名）」）を設置して実施し、2年次進級時から各コースに正式に配属して専門的な教育を行います。

#### (1) 募集人員及び系について

コース	募集人員			系(1年次の教育)			
	一般入試		特別入試	建築・ デザイン系	機械・ 応用 物理系	電気・ 情報系	応用 化学・ 環境系
	前期 日程	後期 日程	AO入試				
建築学コース	(50)	(19)	-	◎	-	-	-
都市環境システムコース	(37)	(15)	-	○	○	○	○
デザインコース	(44)	-	20	◎	-	-	-
機械工学コース	(55)	(19)	-	-	◎	○	-
医工学コース	(30)	(9)	-	-	○	○	-
電気電子工学コース	(55)	(19)	-	-	○	◎	-
物質科学コース	(68)	-	10	-	◎	○	◎
共生応用化学コース	(70)	(24)	-	-	-	-	◎
情報工学コース	(57)	(19)	-	-	-	◎	-
計	466	124	30	(160)	(130)	(190)	(140)

各コースの募集人員〔( )内の数〕及び系ごとの人数はおおよそその人数であり、志願状況等で増減します。

また、系(1年次の教育)において、◎は各コース配属者の大多数が所属する系を示します。また、○は各コース配属者の一部が所属する系を示します。系の所属希望申告は、出願後の受験票等入学試験関係書類送付時に説明資料を送付します。

#### (2) 系についての説明

入学後に履修する英語科目、初修外国語科目、情報リテラシー科目、教養コア科目、数学、物理、化学などの授業科目に加えて、一部の専門科目の時間割は系ごとに決められ、それに従って履修することとなります。1年次の授業については、工学全体を理解するための授業（工学基礎セミナーⅠ・Ⅱ）、所属する系に関係するコースを中心に各コースの専門分野について理解を深めるための授業（工学入門A～C）を実施し、2年次以降のコース配属や専門的な授業の履修に繋がるよう配慮がなされます。

なお、AO入試での入学者はコースの変更はできません。

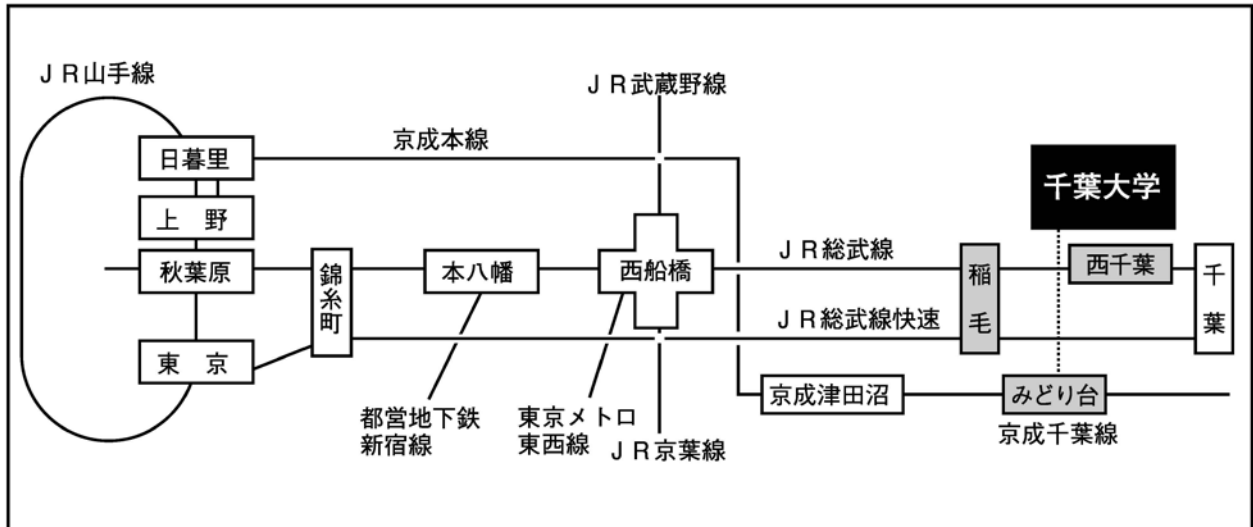
**建築・デザイン系**：建築学コース、都市環境システムコース、デザインコースに配属された学生が所属する系です。

**機械・応用物理系**：都市環境システムコース、機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース、物質科学コースに配属された学生が所属する系です。

**電気・情報系**：都市環境システムコース、機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース、物質科学コース、情報工学コースに配属された学生が所属する系です。

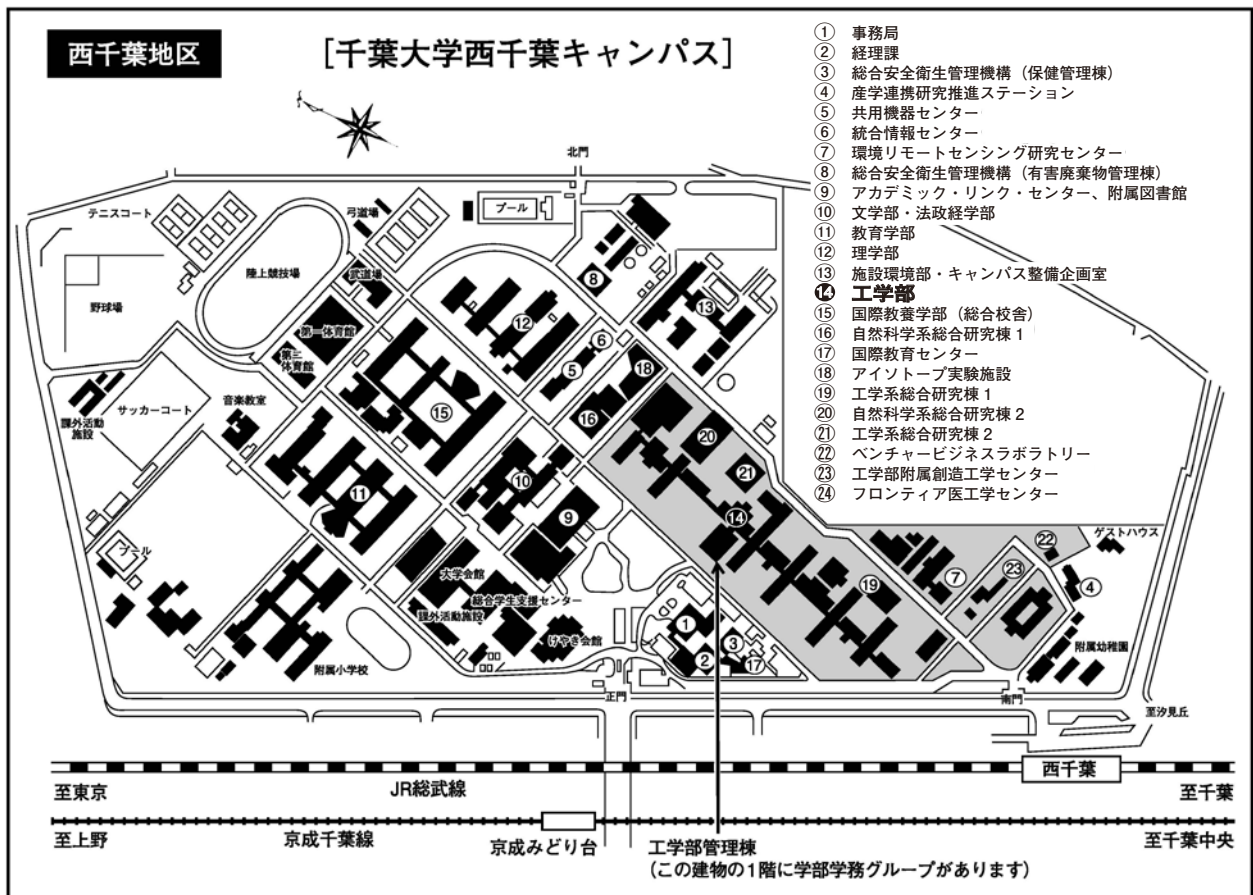
**応用化学・環境系**：都市環境システムコース、物質科学コース、共生応用化学コースに配属された学生が所属する系です。

# 千葉大学案内図



## 【工学部への交通】

- ① JR総武線「西千葉」駅下車徒歩5分（秋葉原～西千葉間48分）  
JR総武線快速利用の場合は「稲毛」駅乗換（東京～稲毛間40分、稲毛～西千葉間3分）
- ② 京成千葉線「みどり台」駅下車徒歩10分



## 千葉大学工学部 学部学務グループ

〒263 - 8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

電話043(290)3054

問い合わせは月曜日から金曜日(祝日等を除きます。)の9時から17時まで